

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第36回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成29年3月17日(金) 午後2時00分～午後4時00分	場所	木津川市役所 4階 会議室4-3・4
出席者 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者… <input type="checkbox"/> 欠席者…	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大副会長(議長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■杉本 美保委員、 ■上野 明信委員、 ■占部 禎佑委員、 ■福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 ■久保 恭子委員、 □今西 邦雄委員、</p> <p>【事業者】</p> <p>■長澤 卓夫委員 ※代理：内田 通 (西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課)</p> <p>□森本 治実委員</p> <p>■後藤 秀雄委員 ※代理：橋本 倫尚 (奈良交通株式会社乗合事業部課長)</p> <p>■津田 秀夫委員、 □近藤 智彦委員、 □大江 正泰委員、 ■梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、</p> <p>■霜永 勝一委員 ※代理：牧田 祐一 (奈良交通運輸産業労働組合協議会事務局)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■道久 聡委員、</p> <p>■菅沼 幸江委員 ※代理：木村 圭一 (国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所計画課道路分析評価係長)、</p> <p>□山本 勇人委員、 ■木寺 信男委員、</p> <p>■西村 基弘委員 ※代理：馬庭 清 (京都府木津警察署交通課交通総務係)</p> <p>□河井 規子会長、 □田中 達男委員、 ■若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>□安江 亮</p>	
事務局	福島政策監、岩木事務局長、尾崎事務局次長、富井主任、藤木主事		
傍聴者	3人		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況等について【資料1】</p> <p>②木津川市コミュニティバスの運行事業者選定について【資料2】</p> <p>(2)協議事項</p> <p>①平成29年度予算(案)について【資料3】</p> <p>(3)その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p>		

	<p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として平田委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況等について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②木津川市コミュニティバスの運行事業者選定について 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成29年度予算(案)について 資料3に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況等について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 【主な意見・質疑等】</p> <p>○：1日フリー乗車券の販売額は、販売枚数×400円ではないのか。 →：小児及び障がい減免用があるため、販売枚数×400円の計算ではない。</p> <p>○：木津駅の乗車人員が増加している要因は。</p> <p>○：周辺地域の人口増加によるものと考えている。</p> <p>○：合併して10年になるが、総括してはどうか。 高齢者の運転免許返納が増えてきていると考えるが、高齢者に対する施策は行わないのか。 市長も協議会に出席してほしい。 →：10年間の総括として、資料を作成する。</p>

- ◎：サービス水準をさげていないのに、利用者が減っている。原因等を分析していく必要がある。
- ：今後も引き続き分析を行い、利用促進策の検討を行う。
- ：梅谷から加茂地域への延伸について、検討を行ったのか。
- ：市の財政負担が増えないように、コミュニティバスを運行していくことが必要であると考えおり、限られた財源の中で、何が出来るのか検討している。路線バスでは、加茂地域から梅谷を通り、奈良まで運行している路線がある。梅谷から加茂地域まで、コミュニティバスを運行した場合に、路線バス運行への影響を考慮する必要がある。
- ：事務局の回答はいつも同じである。加茂駅から木津駅に行く鉄道本数が減っており、JRへの影響を踏まえる必要はない。不便になったところをコミュニティバスで補う必要があるのではないか。
- ◎：財政負担が増えないようにしながら、梅谷から加茂地域への延伸は難しいと認識している。梅谷から加茂地域への路線は、多くの方が利用すると見込んでいるのか。当該路線は、州見台を経由するなど迂回するため、木津駅まで行く方のニーズに答えられないのではないか。
- ：目的地まで時間はかかるが、ガーデンモール、市役所、高の原駅まで行けるため、加茂地域の方は助かると考える。運賃を値上げしても、利用者は見込めると考えている。
- ：加茂地域から木津駅や高の原駅まで運行する急行バスであれば、時間短縮になる。急行バスを組み入れて路線を拡充していけばいいのではないか。運行路線について、協議事項に追加しないのか。
- ：すぐに決定できる事項ではないため、協議事項として考えていない。
- ◎：直接高の原駅まで運行する路線は便利ではあるが、コミュニティバスで運行するのではなく、バス事業者が検討する路線ではないか。迂回して運行する路線は、一般的には利用者は伸びない。本当に利用者が伸びると考えているのか。
- ：市内を循環して、市民を運ぶことを考えてほしい。加茂地域と木津地域を結ぶ路線が現状ないため、困っている。
- ◎：1本の路線延伸で解決できる問題ではないのではないか。加茂駅から梅谷まで延伸した路線は、利用者が伸びないのではないか。現在の利用状況から見ても、駅に直結している路線の利用者が増えている。迂回して駅に行くニーズは少ない。
- ：南加茂台線を廃止し、梅谷から加茂駅を延伸してはどうか。運転免許返納者も増えているため、需要はあると考えている。試験運行してはどうか。
- ：現在のコミュニティバス路線は、加茂地域の利用者を加茂駅に集約して、JRを利用していただく形態となっている。提案の路線延伸は、南加茂台から直接木津地域まで行ける路線となるが、他の加茂地域は改善されない。路線を増やして、便利にすることは大切であるが、市の税金を投入するため、市全体のために、如何にして運行するべきかを踏まえて議論しなければならない。
- ：赤田川付近の道路拡幅計画はあるのか。

- ：道路の拡幅や歩道設置について、京都府へ要望している。
- ◎：高の原駅までの直行便であれば、一定の需要は見込める可能性はある。ただし、コミュニティバスで運行すべき路線ではないのではないか。民間バスが運行している区間に、税金を投入して路線を組み入れる必要があるのか。利用者が一定見込める加茂地域と木津地域を結ぶ路線の実証運行を検討することは良いことであるが、提案の路線は一定の利用者を見込める路線ではないと考える。
- ：加茂地域から一本で市役所や病院に行ける路線が一番であるが、既存の路線が梅谷まで来ているため、それを加茂地域と繋げて欲しいという提案である。
- ◎：加茂駅に路線を集中させ、鉄道で移動する方が合理的ではないか。提案の路線では、加茂駅の南側地域の方は直接木津地域へ行けるが、他の加茂地域は現状のままであり、公共交通全体として良い方向であるのか検討する必要がある。提案の路線で危惧している点は、直接木津駅に向かう路線ではないことである。
- ：提案の路線は、高齢者のための提案であるが、不自由な方はバスに乗られない。また、健康な方は、乗り換えが発生しても、目的地まで着く時間が早い路線を選ぶ。実証運行を行うのであれば、どのような利用者を想定しているのか、どの程度需要が見込めるのか、検討する必要がある。
- ：木津地域と加茂地域を結ぶ道路はいくつかあるが、バスが運行できるような道路幅にして欲しい。
- ：勝手神社付近の道路整備計画はある。木津加茂線の拡幅工事計画はない。
- ◎：加茂地域と木津地域を結ぶ路線について、実現性も含めて検討行うこととする。
- ：協議事項に上げてほしい。また、路線の検討状況が分かる議事録に改善して欲しい。
- ：改善する。
- ：木津川台から山田川駅まで利用しても200円は高い。また、1時間に1本の運行だと利用しづらい。悪循環が起こっている。
- ◎：1時間に1本運行している路線は、コミュニティバスとしては、サービス水準は高い。広報紙やワークショップを行い、広報活動を行っていききたい。

②木津川市コミュニティバスの運行事業者選定について

【配布資料】資料2 木津川市コミュニティバスの運行事業者選定について

【主な意見・質疑等】

- ：どのような基準で業者選定を行うのか。
- ：安全な運行が実施できるか、事故処理が迅速に対応できるかなどの基準により選定を行う。
- ：期間を3年半とした理由は。
- ：バス運行事業であるため、複数年度としている。年度の区切りをよくするため、3年半とした。
- ：国の補助金は9月末締めであるが、問題ないのか。
- ：近畿運輸局と相談し、計画変更申請を行う。

	<p>(2)協議事項</p> <p>①平成29年度予算(案)について 【配布資料】資料3 平成29年度予算(案)について 【主な意見・質疑等】 質疑なし</p> <p>(3)その他</p> <p>①次回協議会の日程について 改めて通知させていただく。</p> <p>②その他 【主な意見・質疑等】 ○：プロジェクターを活用し、全体の路線図を見せて欲しい。 →：市内の状況が分かる図面を用意する。 ○：公共交通だよりのお出かけスポットの地図をどの路線かなど、分かりやすくして欲しい。バス運転手によるおすすめスポットを掲載してはどうか。 →：分かりやすい公共交通だよりになるよう改善する。また、提案のおすすめスポットなど利用促進に繋がる公共交通だよりになるよう検討を行う。 ○：木津南ソレイユ停留所を1つに統一して欲しい、または、停留所に2つの時刻表を掲載して欲しいと提案したが、現在の検討状況は。 ○：ルートが異なるため、1つにすることは出来ない。時刻表については、掲示出来るよう調整中である。</p> <p>3. 閉 会</p> <p>以上。</p>
その他 特記事項	なし。